

JET2020 開催まで 32 日



JET2020 プログラム委員

宇都宮 誠 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

今週は東邦大学医療センター大橋病院の宇都宮より Educational Theater(Basic) について紹介させていただきます。

JET2020 では、EVT を基礎的なところからしっかり学びたい先生方、オペレーターが何をやっているのか もう少し理解したいと思っているメディカルスタッフの皆さん、そして業界に入って日が浅いためちゃんと勉強しなきゃと感じている企業関係者の皆様のために、EVT の基礎的な部分をしっかり学べる教育プログラムを用意しました。アプローチ部位の選択や穿刺方法、ワイヤーの選択や操作法、血管造影の仕方や SFA・BK 病変に対するストラテジーについて 1 日かけて網羅していきます。

日本のトップランナーより珠玉のレクチャーを日本語で余すところなく吸収してください。これを聞けばあなたも EVT professionals の仲間入りです。

2 月 21 日(金)

H1 Basic knowledge of approach site

EVT の始まりは穿刺から。初日の朝 1 番からアプローチについて勉強しましょう。山越えか同側順行かトップオペレーターはどのように考え選択しているのか。Distal puncture の方法と合併症や Trans-collateral approach そして今注目のラディアルアプローチ EVT まで。

H2 How to choose and manipulate the guidewire

EVT はガイドワイヤーも種類がいっぱい。Iliac には？ SFA には？ BK には？ 石灰化には？ 血栓には？ 病変の部位やプラークの性質によって使い分けないと手技成功率は上がっていきません。トップオペレーターの使い分けについて勉強しましょう。

H3 Basic Strategy of SFA EVT

おそらく最初に EVT するのは SFA の病変が多いのではないのでしょうか？そして最初に当たる困難は SFA の閉塞病変かもしれません。SFA は近年たくさんのデバイスが出現し進歩の著しい領域です。逆に言えばまだまだ分からないこともたくさんあります。True なのか Sub なのか？DCB なのか DES なのか？SUPERA スtentやバイアバンの正しい使い方は？ここでいったん知識をアップデートしておきましょう。

H4 Imaging utilization

PAD の診断、治療、follow up に画像診断は欠かせません。しかしすべての基本でありもっとも重要なことは美しい血管造影を行うということです。まずはカテーテルによる血管造影法について学びましょう。基本ができたら造影剤アレルギーや炭酸ガス造影法について学ぶとともに、いまや EVT に欠かすことのできない IVUS 所見の基本やエコーの基本について勉強しましょう

H5 All about critical limb

そして最後は CLI について包括的に学びましょう。EVT なのかバイパスなのか、EVT を行う上で考え方の指標となるアンギオサムとはいったい何なのか？そして昨年発表された新しいガイドラインについて、今後発売が期待される新規デバイスについてもちやっかり勉強しましょう。血管を開けるだけでは CLI の治療とは言えません。創傷治療の基礎や緩和ケアについても合わせて勉強してチーム医療を形成していけるよう頑張りましょう。